



学校だより



2023年 5月31日
横浜市立港南台第一小学校
6月号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp Tel 832-0210 Fax 832-7771
URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/konandai/>



港南台のまちを歩いて

副校長 竹端 岳

通勤で利用しているJR港南台駅の一角に、あまり目立たないのですが、「港南台駅開業50周年」の掲示物がありました。4月9日にちょうど50年を迎えた港南台駅ですが、1973年の開業当時の写真を見ると、周囲は空き地ばかりで建物はほとんどなく、今と比べると信じられないほどの閑散とした光景が広がっています。高度経済成長期に誕生したこのまちは、駅の開業を皮切りに住居や施設、店舗が立ち並び、多くの人々が移り住んで、急速に都市として発展してきました。現在でも港南台1～9丁目で2万8千人を超える方がお住まいになっています。港南台第一小学校は、駅開業の1年後に開校し、来年50周年を迎えます。卒業生は6千名余を数え、多くの子どもたちがこのまちで育ち、巣立っていきました。

小学校では、自分たちの住んでいるまちには何があり、どのような特徴があるのかを、実際に歩いて調べる活動があります。それが、3年生社会科の「まちたんけん」です。先日、探検を終えた子どもたちが白地図に色を塗ったり、書き込みをしたりして、まちの特徴について意見を出し合っていました。わたしも、自分の住む保土ケ谷の境界で気になっていたところを歩いてみたことがあります。いわば「大人のまち探検」をしてみると、“この道があそこへ通じていたのか”とか、“ここからの眺めはいいな”とか、“こんなところにパン屋さんがあったのか”などと、意外な発見をすることが数多くあり、まちのよさを再認識することができました。3年生の子どもたちにとっても、見慣れた街並みをいつもとは異なる視点で歩いてみれば、また何らかの新しい発見があり、住むまちに親しみを感じることにつながるでしょう。

近年、小学校では「インターネット検索」が情報スキルの一つとして位置づけられるようになりました。一人一台の端末を使って、高学年を中心に、自分の知りたいこと、興味・関心があることを進んで調べる活動が行われています。港南台のまちについても、検索すれば数多くの情報が得られるでしょう。今、話題のチャットGPTに「港南台のまちのよさは？」と尋ねたら、何と答えるでしょうか。

しかしながら、まちのよさ、魅力というものは、インターネット上にあるデータや数値、画像のイメージ、誰かの評価だけでは計り知れないものがあります。仮にインターネットを利用して多くの情報を得たとしても、それが本当なのかを検証することは大切です。そもそも、まちのとらえ方自体が人によって様々です。だからこそ学校から出かけ、歩き、五感を働かせ、一人ひとりが「わかる」という活動を目指しているのです。

今後、教室ではますますインターネットを利用する機会が増えていくと予想されます。子どもたちには、☆5つや検索上位の情報ばかりに頼ることなく、情報の検証はもちろんのこと、多角的、批評的なものの見方、生成AIにも負けない創造的な思考を身に付けていってほしいと思います。

港南台駅と「同い年」のわたしは、今日も、まだ出会ったことのないまちの風景に出会えるのを楽しみに、人もまばらな早朝の港南台のまちを、学校へ向けて歩いています。